

なぜ鬼は虎皮のパンツをはくのか 「仏教のヨコ道ウラ話」

仏教文化

いしい こうせい
石井公成 著

▼46判・並製カバー・240頁・定価 一、六五〇円

2025年11月刊行



仏教にまつわる様々なエピソードを通して、その意外にもユルくて奥深い面白さを専門家が紹介。思わず誰かに話したくなる逸話が満載！

【目次】

はじめに
日本の清酒はお寺で生まれた
サウナの功德を説いたお経
伝染病と仏教
乳の仏教学
マリア観音と鬼子母神
禅僧の望郷詩
和尚と小僧
修行としての便所掃除
「ころの時代」はアメリカ由来
禅(Zen)は昔は「じえん」と発音されていた
肩から炎、足もとからジェット水流を放つ仏
地獄に堕ちたお釈迦様
なぜ鬼は虎皮のパンツをはくのか
ペット供養は唐代からあった
僧侶による戦死の礼賛と桜の花
剣を手にして争う仏たち
漢訳仏典の音写語が日本語になるまで
空飛ぶ鉢と『竹取物語』の親父ギヤグ
月の光と仏菩薩の化身である下女

「心は闇だ」の系譜

至高神アフラ・マズダーと少年のような阿修羅像
寺院における少年愛
花を笑わせた僧侶たち
寺を「てら」と呼ぶ理由
テラ銭と僧尼の博打
僧兵による寺院の焼き討ち
「心から」の原義は「自業自得」の「自」
夏の「お盆」は仏教行事なのか
盆踊りの踊り方は一遍上人の時代から
酒宴で踊る僧侶
琵琶を頭の後ろに回して弾く天女
あとがき

◆著者略歴

石井公成(いしい こうせい)

一九五〇年東京都生まれ。早稲田大学第一文学部東洋哲学専修卒業。同大学院文学研究科博士課程東洋哲学専攻単位取得退学。博士(文学)。駒澤大学名誉教授。専門はアジア諸国の仏教とその周辺文化。主著に『華嚴思想の研究』、『聖徳太子―実像と伝説の間―』、『ものまねの歴史―仏教・笑い・芸能―』、『東アジア仏教史』、『恋する仏教―アジア諸国の文学を育てた教え―』などがある。『聖徳太子研究の最前線』ブログを運営中。

注文書

(書店印)		様
ご担当		冊
石井公成著 なぜ鬼は虎皮のパンツをはくのか 「仏教のヨコ道ウラ話」 ISBN: 978-4-8318-5759-0 C0015		法蔵館 定価 一、六五〇円
お名前	お電話	ご住所

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp